

連携協定を締結した山根会頭（左）と加藤支店長



玉野会議所

日本公庫岡山支店

事業承継支援へ連携

玉野商工会議所は25日、中小企業や小規模事業者の事業承継支援に関する連携協定を日本政策金融公庫岡山支店（岡山市北区柳町）と結んだ。後継者不足や新型コロナウイルス禍で増加する廃業を抑制し、地域に必要とされる事業者の存続に努める。

ニーズ把握し対応 後継者など不足など

協定では、地域に密着した会議所のネットワークを生かしてニーズを掘り起こし、後継者がいないといった事情があるものの事業承継を希望する中小企業、小規模事業者の情報を共有。日本公庫は創業希望者とのマッチングなどを進め、譲渡・譲受に向けた面談や交渉をサポートする。

会議所で締結式があり、山根一人会頭と加藤友彦支店長が覚書を交わした。山根会頭は「事業承継に関する相談を地域から多く受けている。尽力いただき、企業の維持継続につな

がることを期待する」と述べた。

加藤支店長は「小規模企業にとって身近な存在である会議所とタッグを組み、事業承継の問題解決に全力で取り組む」と述べた。

同公庫の試算では、全国約359万社のうち7割超が後継者未定などで廃業の懸念がある。同様の協定は全国

で進められており、同公庫は県商工会連合会と6月に締結。岡山支店は備前商工会議所とも結んでいる。

（多田和代）

消防士の仕事に挑戦

市本部で初フェス放水やロープ渡り

消防活動への関心を高めようと、市消防本部と玉野地区防火協会は27日、「たまの消防フェスティバル」を市消防本部で初めて開いた。子どもが放水やロープ渡りといった消防士の仕事などに挑戦した。

消防活動への関心を高めようと、市消防本部と玉野地区防火協会は27日、「たまの消防フェスティバル」を市消防本部で初めて開いた。子どもが放水やロープ渡りといった消防士の仕事などに挑戦した。

はしご車による救助訓練では、はしごを伸ばし約25層の高さから消防士がロープを垂らし降下する様子を披露。参加者は消防士の機敏な動きに感心して

市内外から家族連れら約1700人が参加。煙体験では火災時の煙の怖さを実感し、救急体験ではAED（自動体外式除細動

第二日比小2年野崎愛翔君（8）は「放水体さんデジに動画



参加者